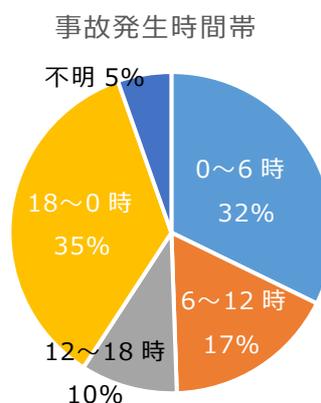
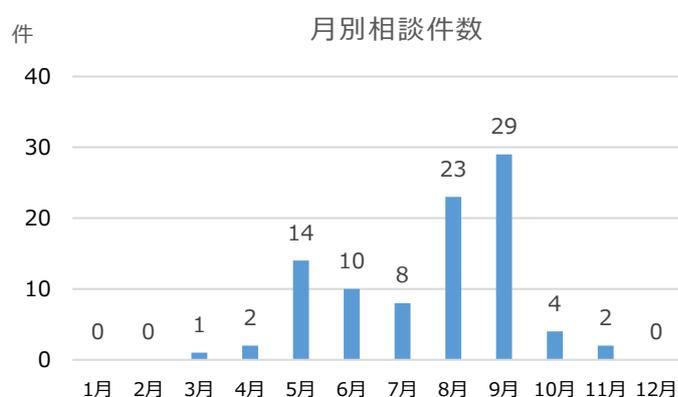


ムカデに注意しましょう！

ムカデは、春から秋にかけて活動し、夜になると餌を求めて屋内に侵入することがあります。中毒110番では、ムカデに咬まれたという相談が年間20～30件程度あり、特に8～9月に多くなります。



ムカデ咬傷の受信件数（2019～2023年、n=93）



以下のような相談があります。

「就寝中、家に侵入したムカデに手の指や首元を咬まれた。直後に激しい痛みで起きた。」

「靴の中にムカデが入っていることに気付かず靴を履いたところ、足の指を咬まれた。」

ムカデは夜行性のため夜間に事故が多く発生しており、寝ている間に咬まれたという相談が多くみられます。ムカデに咬まると直後に咬まれた部分の激しい痛みが出現し、赤くなったり腫れたりすることもあります。通常、痛みは数時間以内に改善します。咬まれた部分は石鹼と水で十分に洗浄した後、痛みがある場合は冷やしましょう。我慢できない強い痛みや気分不良、嘔吐、頭痛などの全身症状があれば医療機関を受診しましょう。

●ムカデに咬まれないために以下の点に注意しましょう。

- ・定期的に害虫駆除や防除を行うなど、ムカデが屋内に侵入しないようにしましょう。
- ・ムカデを見つけた場合、殺虫剤などで駆除し、ムカデを直接手などで触れないようにしましょう。

事故が発生し、医療機関を受診すべきか判断に迷った場合は中毒110番にご相談ください。

公益財団法人日本中毒情報センター 中毒110番電話サービス（一般向け 365日 24時間対応）

■大阪中毒110番 072-727-2499 ■つくば中毒110番 029-852-9999

本資料を引用又は使用して資料作成・報道等を企図される場合は、必ず事前にその内容について日本中毒情報センター（本部事務局 電話：029-856-3566）の承諾を得、「公益財団法人 日本中毒情報センターの調査による」旨明記して下さい。